



森づくりサポーターニュース

平成29年(2017年) 6月30日号

びわこ地球市民の森(森づくりセンター)

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312
メールアドレス biwako@moridukuri.info URL http://www.moridukuri.info

森の生長ならびに生態系に合わせた 利活用と管理方法を考える(1)

平成29年度は本号から標記のシリーズでお届けします。そこでゾーン毎に地形や当初のゾーニング計画、森づくりの方針、生長度合いなどを基に、4回に分けて考えていきます。

第1回は「ふれあいゾーン」6.63haです。ふれあいゾーンは、上流(里の森側)から下流(つどい側)まで縦長に約450mあり、北北西に曲がっています。横断面に切ると幅は約150mあり、西から急傾斜で盛り上がり一番高いところに1本、東へ緩やかに下った平地に

水路を挟んで2本と計3本の園路が通っています。一番高い園路は、北西に下って平地の2本につながります。西側半分が山の部分、東側半分が平野というところでしょうか。平野には平地林やふれあい池、草地

広場、水路には池のような場所やワンド、タマリ、中洲などがあり、いろいろな水生植物が生え、水鳥もやってきます。

このゾーンの森づくりのテーマは「水辺の環境学習フィールド」であり、流れ、池、湿地、森の生態観察ゾーンとしての形が整っているのです。ただ、残念ながら人工のふれあい池は漏水のうえポンプが故障しています。漏水はとても直せませんが、

現在よりまし湿原にするためポンプは修理する予定です。そのうえで湿原の生態系の観察の場にしたいと思っています。

ところで、このゾーンと「里の森ゾーン」はともに環境学習のフィールドがテーマであり、生物の多様性を目指すために、開園当初は他の3ゾーンと分けて「犬の立ち入り」を禁じていました。しかし、5ゾーンで入園禁止と可能の2種類では、利用者の混乱を招くことからやむなく全園リード付き可としたことは、所期の目的からすると残念なことです。

さて、森のゾーンですが、6月上旬に県営都市公園「春日山公園」(大津市堅田)の初夏の森の様子を見てきました。同じ県営都市公園ですが、地球市民の森のお手本になるような里山の中にある公園です。棚田の跡に森化した場所がたくさんあって中木のコシアブラやタカノツメ、そして地球市民の森にも植えられているリョウブ、ウツギなどの新葉や花が見られました。このゾーンの森も両側から園路に枝葉が被るなど、だいぶ森らしくなってきました。今後はさらに里山にふさわしいコシアブラなどの木々を補植し、森の中も楽しめるゾーンにしていきたいと思っています。

森 (ふれあい第1橋
西詰から南への園路)流れ
(市道から北を望む)春日山公園
(森の中の様子)

”ひわこ地球市民の森 のつどい2017” 開催!

平成29年5月28日(日)、新緑鮮やかな晴天のもと、「育もう みどりの未来 つないでいく みどりのバトン」をテーマに、恒例の”森のつどい2017”が開催されました。

開会式では、葭本実行委員長の開会宣言のあと、三日月滋賀県知事、宮本守山市長の挨拶、来賓として出席された国会議員、県議会議員、守山市議会議員を代表して武村衆議院議員のご挨拶があり、つづいて守山市緑の少年団、ガールスカウト、ボーイスカウトの皆さんによる森づくり宣言が会場一杯に元気よくなされました。

大会のメインである「自然とふれあいウォーク」では、約1,000名の方が参加し、距離別に設定された南3コース、北3コースの中から、それぞれ自分に合ったコースを選び、緑あふれる爽やかな森を自然とふれあいながら散策しました。



サポーター旗を先頭にスタート



散策をしながら森の解説



緑に囲まれたウォークは最高



開会宣言

森づくり宣言



丸太切り体験



間伐体験



竹馬に挑戦



緑の募金活動



ツイストパン体験



サモアづくり



食のブースも長蛇の列



園児たちの可愛い演技

もうひとつのメインである体験のブース、食のブース、お楽しみのブースでは、森づくりサポーターをはじめ緑の少年団やガールスカウト、ボーイスカウトの皆さんなど多くの団体に出店していただきました。丸太切り、森の間伐、クラフト、ツイストパン、しおりづくり、ネイチャーゲームなどの体験、味自慢のお店、可愛い園児たちの演技やアトラクションなど盛りだくさんの催しに会場を訪れた約4,000名の来場者は緑あふれる森の1日を楽しみました。

また、つどいに併せて行われた今年度第1回の森づくりサポーター活動では、143名のサポーターの皆さんのが参加され、自然とふれあいウォークや体験のブースでの活動などつどいを一層盛り上げました。



体験のブースは大人気



竹笛づくり



木の円盤でクラフト



▼多くの来場者で賑わう里の森ゾーンの会場



森づくりセンターの軽トラに巣作り

5月のある日、ハクセキレイが、軽トラ（ダンプ）に巣をつくっていました。

車は移動したり、無い時もあるので、「諦めるかな」としばらく様子を見ていきましたが、餌らしい虫を運んでいたので、荷台を上げてみると、ヒナが4羽孵っていました。

「森のつどい」の前で、車は頻繁に動き、ヒナが落ちては大変!!なので、巣を（ヒナ4羽共々）引っ越し。その後いつの間にか巣立っていました。

文明の利器 自動車も、ハクセキレイにとっては、自然の一部なんですね。



スペアタイヤの上で9割方でき上がっていました



1日1個、4日で4個



餌を一所懸命に運んでいました



無事に孵ったヒナ

お知らせ

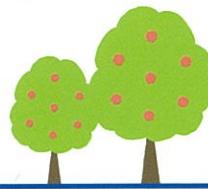
— 第2回森づくりサポーター活動のご案内 —

暑い時期ですが、みなさんのお越しをお待ちしています。

開催期日 平成29年7月22日(土)

開催場所 びわこ地球市民の森（出会いのゾーン）

活動内容 植栽地の育樹活動と自然教室など



森づくりセンター組織体制

平成29年度で、シダックス・ハウスビルグループが指定管理者となって、4年目を迎えました。今年度は、下記の職員により、森の運営を行っていきますので、引き続きよろしくお願いします。

江見和綽(所長)、三溝勝彦(副所長:事務担当)、橋本智(副所長:技術担当)、平塚英史(森づくり企画員)、湯本悠樹(森づくり業務員)、堀毛淑子(森づくり事務員)、田上知(森づくり指導員)、山本俊一(森づくり調査員)

編集後記

今年4月、森の一番北側に位置するふるさとゾーンの駐車場横に四阿、上流のつどいゾーンに通じる水路に2基の橋が完成しました。

今年度は、橋が架けられた水路沿いの歩道の整備も予定されていますので、森の散策、休憩に大いに活用してください。



森のデータ

森の面積	42.5ha
森の延長	3.2km
森の幅	100 ~ 200m
植樹面積	80,808 m ²
植樹期間	H13 ~ H25
植樹活動参加者数	45,994 人
植樹本数	160,967 本
森への利用者数 (H28)	168,592 人
森づくり活動参加者数 (H28)	7,029 人
内サポーター活動参加者数 (H28)	2,518 人